飯田市議会における反問権の実施要綱（案）について

1 経緯

(1) 飯田市長から議長への要望

・「飯田市議会における反問権の検討について」平成 29 年 8 月 23 日付け 29 飯企第 173 号市議会における質問及び質疑に対する答弁を的確に行うとともに、市政上の論点や争点を明確にすることを目的として、下記事項についてご検討いただきますよう要望します。

- 1 反問権の扱いについて
- 2 検討の経過においては、市側職員（総務部長、総合政策部長、総務文書課長、企画課長）の参加について、ご配慮願います。

(2) 議会改革推進会議の中間報告

・「飯田市議会における反問権付与の検討について（中間報告 案）」平成 30 年 3 月 22 日

○反問権の定義及び議会での反問権付与の検討について

飯田市議会は、市の意思決定の場としての議会における議論を尽くすため、市執行機関に反問権を付与する方向で検討する。

（反問権の定義）

反問権は、議会での質疑答弁が的確に行われるために、質問及び質疑に対して、その趣旨を明確にすることを目的として、答弁者から発言議員に問うものである。

（議会での反問権付与の理由）

- 市議会は「言論の府」であり、市の意思決定の場であることから、よりの確な議論が行われることが期待される。
- 市議会における議論は、市民の福祉の増進に資するための政策実現に向けたものであることから、その内容が理解されるために、論点や争点が市民に明確に伝わる必要がある。
- 反問権の付与により議論の活性化が図られることは、議員個々の資質向上にもつながり、もって議会力の向上に寄与することが期待される。

2 飯田市議会における反問権の規定について（案）： (1)及び(2)を定める

(1) 飯田市議会会議規則（昭和 54 年飯田市議会規則第 1 号）に位置付ける

※次の①～③に関しては、「反問」する対象によって規定が異なる。

（一般質問のみか、本会議のみか、委員会も含めるか）

- ①新設→ 第 57 条の 2（質疑に対する反問）…本会議－議案－修正案の部分を規定
- ②改正→ 第 64 条（準用規定）…本会議－質問（一般質問・緊急質問）の部分を規定
- ③新設→ 第 112 条の 2（質疑に対する反問）…委員会の部分を規定

(2) 飯田市議会の反問権に関する要綱（案）を定める

- ①飯田市議会会議規則に規定する「反問」の実施に関して、必要な事項を定める。